

【広島県議会】令和5年8月18日 警察・商工労働委員会
全国市民オンブズマン連絡会議による、半自動文字起こしアプリによる文字起こし
(警察カラ出張問題部分)

加納孝彦：皆さんおはようございます。

私の方から質問をさせていただきます。

まずは平素よりですね、県警察皆様方の県民の皆さんのお話なども守っていただいております先ほど説明にもありましたように、本当に治安の良好と感じていただいている県民皆さん増えてきているということについてまず御礼を申し上げたいと思います。

その中でですね、8月の初めだったと思いますけれども、県警察のカラ出張疑惑ということで、ネットニュースであったり、報道送信になったり取り沙汰されました。この件について確認をさせていただきたいと思います。

まず今回の報道につきましては、昨年3月まで当県の警察官であった男性の方から申告内容として、ネットニュースに流されました。

県警察が地元のマスコミ各社からの確認を受ける過程で報道がなされ、県民に広く知れ渡ることになったものと承知をしております。仮にカラ出張などと報じられている旅費の不正な請求等が事実であれば、県民の信頼を著しく損なうものであり、極めて憂慮すべき事態であると懸念をしております。

記事によれば、県警は一部の警察官が旅費を不正に受け取っていた事実を把握しており、当時の関係者などに事情を聞いているとのことでありました。

県警察においては、事実関係の確認に当たっておられることと思いますし、現段階で説明できる内容に限られることも承知をしておりますけれども、県警察におかれまして、今回の報道をどのように捉え、今後どのように対応されて、なされているのかお伺い致しますよろしくをお願いします。

県警察官：県警察では、出張に係る不正な経費の請求があったのではないかという情報を得て、現在、調査捜査を進めているところであります。

引き続き必要な調査や捜査を尽くし、その結果、不正行為が判明した場合、事実関係に即則し厳正に対処いたします。

なお判明した結果に基づき、懲戒処分を行った場合、懲戒処分の発表の指針に従い、速やかに公表いたします。

以上です。

加納孝彦：現在調査を行っていただいているというであります。

なるべく早く調査を行いまして、県民の皆さんに説明をお願いをしたいと思います。要望となりますけれども、警察官の職務を遂行して治安が良好に保たれるためには、県民の理解と協力が欠かせないわけでございます。

現在報道されている事態が県民の不信感に繋がることは想像に難しくなく、他の警察官に及ぼす影響についても危惧をされるところでございます。

県警察におかれましては、組織に向けられている県民の疑念を十分に踏まえ、適正な調査捜査活動を通じて事実関係の改善に努められるとともに、万一不適正な行為として公表の基準に達するような事態となった場合には、県民への説明を尽くしていただき、信頼の回復に努めていただくよう強く要望いたします。

どうぞよろしくお願いいたします。